

SDGs生活 33の習慣でプチ貢献
ポイントで自分にも得

五輪を立て直す

'20.4.6
No.19
アエラ
定価 400円

A E R A

〔巻頭特集〕

33の習慣で
SDGsに
ちょい貢献



柔道選手
阿部一二三・阿部 詩

世界の最先端で仕事ができるチャンス

株式会社あおいけあ 代表取締役社長 加藤忠相さん



Kato Tadasuke

東北福祉大学総合福祉学部卒業。大学卒業後に特別養護老人ホームに就職するが、その現状にショックを受け退職。25歳のときに神奈川県藤沢市で、老人介護施設を運営する(株)あおいけあを起業。趣味は、サックス。今も高校時代の吹奏楽部OBと週に一度は演奏を楽しむ。

生活に密着した介護支援を行っている「株あおいけあ」の加藤忠相さん。家庭的な雰囲気の中で、食事の準備や洗濯など、できることは利用者にもやってもらいながら、自然な形で介護支援を行う。皆、積極的に活動をしているため、スタッフと見分けがつかないくらいだ。スタッフもタイムスケジュールや業務マニュアルなどは柔軟に対応している。「10時お茶どうぞ、12時ご飯です」というのは1963年老人福祉法制定当初に根付いていた社会の考え方です。2000年の介護保険制度からは、要介護状態等の軽減もしくは、悪化させず、最期まで寄り添うのが介護職の仕事です」

「世界からみても日本は超少子高齢化が進んでいる国。日本の介護業界は、最先端企業です。熾烈な争いもない。そういう意味では、いろいろな人が世界に食い込めるチャンスのある仕事でもあります」と、加藤さん。若い人の起業も楽しみにしているようだ。

「株式会社あおいけあ」

グループホーム「結」、小規模多機能型居宅介護「おたがいさん」などを運営。利用者とスタッフの距離も近いアットホームな雰囲気、一人ひとりに合わせた支援を目指す。

住所: 〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野4-12-35
お問い合わせ先: 0466-83-6317(代表)

ごちゃまぜ福祉で元気を創出

社会福祉法人みねやま福祉会 宮津総合実習センターMa・RooTs センター長 榎田 啓さん
児童養護施設 てらす峰夢 施設長(社会福祉士)



Kushida Tasuku

学生時代の夢はプロサッカー選手。卒業後は仕事の傍ら中学や高校でコーチを務めた。家族とのキャンプが趣味で、場所は丹後の海が最高という。祖父が創設した社会福祉法人みねやま福祉会を支えながら、地元が元気になる新しい福祉のあり方を実践中。

京都府の丹後地方、日本三景の天橋立が真横から眺められる絶好のロケーションに立つ「Ma・RooTs(マ・ルート)」。認定こども園、特別養護老人ホーム、障害児(者)施設、宿泊できる福祉人材養成センター、カフェを備える複合施設だ。

「福祉の分野を超えて、ごちゃまぜにすることで元気を創り出せるかやってみよう」と思い立ったと、この施設の企画から携わった榎田啓さん。ごちゃまぜは、利用者だけでなく、スタッフや地域の人も含めて、互いを認め合う力や支え合う心を養う共生社会そのものであり、想像以上の相乗効果も生まれている。

「Ma・RooTs(マ・ルート)」
認定こども園、特別養護老人ホーム、障害児(者)施設、福祉人材養成センターのある複合施設。
住所: 〒626-0061 京都府宮津市字波路716番地の3
お問い合わせ先: 0772-20-1150(代表)

児童養護施設「てらす峰夢」
一軒家のような施設で、家庭的な生活を通して子どもたちの心身の健やかな成長を支援。
お問い合わせ先: 0772-62-1251



福祉・介護の仕事について、どのようなイメージを持っているだろうか。改革が進み、利用者とその家族、働く職員、支える地域住民がイキイキとしている福祉・介護の仕事の現場がある。福祉・介護の仕事の改革を通して明るく元氣な職場づくり、地域づくりをする実践者たち取材した。

福祉・介護マイスターを追求!

KAI-Go!

福祉・介護を変える! 実践者

地域と福祉施設の壁を壊す

社会福祉法人 愛川舜寿会 常務理事 馬場拓也さん



Baba Takuya

先進的な視点で、特別養護老人ホーム「ミノワホーム」を経営している馬場拓也さん。ミノワホームは、やや車通りの多い道路に面しているが、壁はなく、開放的だ。「以前は壁があったのですが、建築・福祉を学ぶ学生とうちのスタッフで検討をし、壁を取っ払ったんです」。壁があると守られるような感覚があるが、中の利用者たちの暮らしが見えにくく、地域の営みから分断されやすくなる。壁を壊した後は、庭を作った。天気の良い日は、利用者がベンチで憩う。ときおり話しかける地域の人もいる。施設の生活を見えやすくすることで、周りの人の見守りの意識も向上し、セキュリティ強化にもつながった。

今では施設の存在感も増し、福祉の日常が地域と緩やかにつながり始めているという。メンズカルチャー・ファッション誌『POPEYE』3月号(2/7発売)には、馬場さんが制作に関わった「福祉の仕事特集」が掲載された。また2015年には、『介護男子スタディーズ』という本も作った。ここでは若手の建築家、クリエイターや学者などにも登場してもらった。「介護の仕事に大切な知識の集積や実践のエビデンスは、彼らの仕事にも共通していることです」と馬場さん。

社会福祉法人 愛川舜寿会「ミノワホーム」

特別養護老人ホーム(入居)、デイサービス、居宅介護支援事業所、生活困窮者支援なども行う。スタッフ同士の風通しも良く、利用者一人ひとりの最善を考え意見を出し合える環境だ。

住所: 〒243-0301
神奈川県愛甲郡愛川町角田140-3
TEL: 046-285-3535
mail: info@aikawa-shunjukai.jp

馬場拓也さん、加藤忠相さん、榎田啓さんのお話について、より詳しい内容はこちらの特設サイトをご覧ください。(特設サイトでは福祉・介護の課題に対して様々な取り組みをする人、イキイキと働く現場の声などを紹介しています)

<https://www.asahi.com/ads/kaigo/> **kai-go** 検索



※本プロジェクトは介護のしごと魅力発信等事業(福祉・介護に対する世代横断的理解促進事業)として実施しています。(実施主体: 朝日新聞社・厚生労働省補助事業)

